

大阪府立今宮高等学校 第2学年 発行
〒556-0013 大阪市浪速区戎本町2-7-39
☎06(6641)2612
Fax 06(6645)7608

学年通信 (総合学科13期) 第6号

学年末に備え計画的に学習しよう

早いもので、新年を迎えてから1ヶ月が経ちました。みなさんにとって重要な1年の12分の1が過ぎたこととなります。この学年通信でも、学年集会でも、進路を具体的に考えること、早くその準備をすることを呼びかけてきました。気がつけば、時間はあっという間に過ぎてゆきます。まさに「光陰矢のごとし」、「一寸の光陰軽んずべからず」です。

実力テストの結果を見て、また、この土・日のセンター模試の手応えから、今あなた方が思っていることは何でしょう？



着実に力をつけている人、頑張っているのになかなか結果に反映できない人、頑張るのに疲れてきた人、そもそもの頑張りが足りない人、さまざまでしょうが、大人への入り口に立っているあなた方は、自立して生きるために今何をすべきか、ということ

ことを自分なりに真剣に考える時期にあります。

学習の面で言えば、得点は気になるでしょうが、それよりも、自分がまだ理解できていない点や、学習が不足しているところを、きちんとチェックして確実に習得しようと努めてください。裏面に1月に実施した実力テストの講評を掲載しています。しっかり読んで今後の学習の参考にしてください。

【しっかり学習することが今後の人生に役立つ】

「最近先生たちは勉強のことばかり言う」と思っている人もいます。もちろん、それは「受験」を意識してのことです。でも、私たちは単に「受験勉強」することだけを求めているわけではありません。勉強はしんどいし、辛いし、邪魔くさいものです。得意な科目でさえ、時には勉強するのがイヤになることもあるでしょう。しんどくても、辛くても、邪魔くさくても、イヤになっても、自分がやらなくてはなら

ないことはたくさんあります。大人になれば自分が引き受けなくてはならないことはどんどん増えていきます。私たちは、あなた方がそれに立ち向かう人になってほしいと願っています。目の前の学習に真剣に取り組むことが、あなた方の人生の糧になると信じています。今日の前にあることと真剣に向き合えなくて、将来起こりうる人生の難題を解決できるはずはありません。

実力テストの講評に書いてありますが、まずは授業を真面目に受けることです。そのためには予習は不可欠です。予習でわからなかったこと、できなかったことを解明するのが授業だからです。そして必ず見直すことです。「受験勉強」はこの延長線上にあります。毎日毎日をおろそかにせず、今頑張っていることが、単に「受験」だけでなく、自分の人生にプラスになるはずだと思って力を出しましょう。

【いい学年末を迎えよう】

2月になりました。最後の定期テストまで1ヶ月を切りました。また、今宮高校の入試もあります。あなた方が2度目の新入生を迎える春はもうそこに来ています。

いい先輩であってください。目標に向かって努力する人であってください。

学年末テストは、今年1年の締めくくりとして全力を出し切りしましょう。ここまでの成績がいい人も悪い人も、「最後よくやったなあ」という思いで、学年末を迎えてほしいと思います。進級を心配している人は特にしっかりと「ラストスパート」してください。準備は今から！



当面の予定

- 4日(木) 6限 英語スピーチ大会決勝
- 11日(木) 祝日
- 16日(火)～17日(水) 今宮高校入学願書受付
- 18日(木) 5限 個人写真撮影(体育館)
 - ◎標準着用・頭髮注意
 - 6限 薬物乱用防止教室(多目的ホール)
- 22日(月) 1～4限短縮(40分)授業
- 23日(火)～25日(木) 高校入試のため登校禁止
- 26日(金) 時間割変更(火1234限・金56限)



- 1日(月) 木1～4限の午前中授業
- 2日(火)～8日(月) 学年末テスト

今年度最後の行事
球技大会は5組が制す

あいにく朝から雨が降り、体育館で実施されることとなった球技大会は、熱戦の連続でした。結果は5組が優勝、5組は年末の百人一首大会に続いての優勝、文武両道クラス?であることを示しました。2位は3組、3位は6組でした。学年スポーツ大会で1位・2位となった1組、2組、行事に燃える4組は上位に入ることはできませんでした。大きな歓声と笑顔が印象的な行事でした。



(ウラにつづく)

第3回宿題実力考査講評

国語

【現代文】

平均点は57点、春の実力テストは48点、夏の実力テストは55点という平均点だったので、点数的には徐々によくなっている。最大の要因は、漢字の問題の正解率が上がってきたことである。今回の実力テストでは、15問漢字の問題が出たが正解率は約65%であった。問題数にして10問弱は正解したことになる。漢字に対する意識が高くなったのは評価できる。また、記述式の問題（読解）に対しても空白にする人が少なくなってきた。しっかりした解答をできる人も増えてきた。ただ、読書量が少ないため、指示語の内容を答える問題や、語句の意味を問う問題などの基礎的な問題の誤答が目立つし、漢字問題にしても、大学を目指すのであればまだ正解率は低いと言わざるを得ない。大学進学を考えるのであれば、基礎読解問題や漢字問題は全問正解を目指すべきである。加えて、**3月末までに語の意味や慣用表現の意味など語彙を増やすこと。授業教材や問題集の文章を徹底的に読む習慣をつけること。とりあえず、学年末テストの範囲の文章（問題集を含む）をしっかり読み込み、まずは、漢字や語句の意味を完璧にマスターし、内容を詳細に理解（「何となくわかった」はダメ!）してもらいたい。**

【古典】

よくできている人はいるが平均点は34.5点、本年度の実力テストの平均点は40点を超えることが一度もなかった。特に古典文法に関する問題の正解率が低すぎる。㊦の助動詞に関する問題の正解率は20%、㊧の敬語に関する問題に至ってはわずか17%の正解率である。全体として、文法を反復復習せず、定期テストの範囲だけ文法事項を丸暗記しているという類の学習でごまかしているとしか思えない。まずは、文法を徹底復習すること！ 完璧に覚えること！ それなしには古典の点数アップはない。特に大学進学を考えている人は、**今日から毎日最低30分文法の復**



習に時間を割くこと。そのペースできちんとやれば3年の夏休み前には文法知識は定着しているはず。また、今授業でやっている教材を中心に古語を覚えること。春休みには単語プリントを宿題にするので**徹底的に語彙力をつけよう！**

漢文は、基礎的な知識が不足している。助詞・助動詞はひらがなで書き下す、置き字は表記しないなどの基本中の基本ができていない人もいる。白文に訓点をつける問題も、二字の熟語に返って読む（ハイフンのついた二点）ことさえわかれば誰でも正解できるはず。**古文同様基礎の反復練習をもっと徹底すること。**特に再読文字や基本句形を完全マスターするよう努力してほしい。

古典は、現代文以上に知識量が得点のポイントとなる。**基本知識の定着に十分な時間をかけてほしい。**

数学

【数学Ⅱ理系】 平均点 32.3 点（受験者数 62 人）

問1は、過去の定期考査における基本問題をそのまま出題したが、定着の度合いは低い。

この状態では、「数学Ⅲ」の内容をしっかりと理解するのは非常に厳しい。「数学Ⅲ」の非選択者にとっても、きちんと理解しておかなければならない内容であった。問2以降は、課題と同じ問題をそのままの形で出題したが、個々によって大きな差が見られる。**何もしないで問題が解けるようになるはずはなく、日常の練習量に成績は比例している。**また、解答の記述について**きちんと論理的に組み立てる**ことのできる生徒が少ない。自分だけが理解できていれば良いのではなく、解答を見る者に分かりやすく記述ができるようになる必要がある。このことについても、日常の練習量の不足が原因のひとつである。

【数学B理系】 平均点 44.4 点（受験者数 63 人）

課題の範囲を絞り、尚且つ、全問を課題と同じ問題として出題した。《数学Ⅱ理系》と同じことが言える。

【数学Ⅱ文系】 平均点 29.6 点（受験者数 111 人）

全問が、課題と同じ問題として出題されている。25人の得点が10点未満であり、課題への取り組みが非常に悪いことが推測される。**日常からの学習方法をしっかり見直して対応**

しなければ、この状況から抜け出すことは困難である。

【数学B文系】 平均点 42.4 点（受験者数 104 人）

問1は、「数列」の基本問題を出題したが、定着の度合いは低い。応用問題ではなく基本事項が定着していないことが浮き彫りになった。「**予習→授業→復習**」のサイクルを大切に**して取り組んでいく必要がある。**今後は特に、**復習（主に問題練習）を大切にしなければならない。**問2以降は、課題と同じ問題をそのままの形で出題した。きちんと取り組んだ生徒は相応の得点を取れているが、個々の差は大きい。やはり、日常における学習を積み重ねることが大切である。

英語

Aが長文、Bが構文、C・Dが熟語、E～Mが文法からの出題であった。

それぞれの正解率は、長文25%、構文24%、熟語43%、文法48%で、平均点は37.4であった。

長文、構文の正解率の低さが目立つ。長文に関して言うと、3番の問題（下線部訳、後置修飾）の正答率が極めて低いのだが、日頃授業で繰り返し指導しているだけに残念だった。構文については、仮定法に関するものであったが、仮定法の基本の形ができていない人が多かった。**英Gの授業で再度仮定法の学習をするので、今度こそ習得してもらいたい。**また、あり得ないミスが少なからずあった。

【例】 助動詞の後に過去形の動詞や助動詞や前置詞を書く。

be 動詞や have の後に動詞の原形を書く。 等

文法と慣用的な表現がきちんと定着していないので、このようなミスをするのであろう。語句整序はできるのに、英文は書けないというのも、同様の理由からであろう。

宿題をするので精一杯で、テスト勉強をせずに受験した人が多かったのではないだろうか。

日頃の授業での小テストも含めて、しっかり準備して試験に臨む癖をつけてほしい。この繰り返しで、**知識が定着していく。**

その他では、文字・数字・記号は、テストの時はいつも以上に正確に書いていねいに書こう。



